

事務事業名		木次こども園建設事業		所属部	子ども政策局	所属課	子ども政策課
総合計画体系	政策名	(Ⅲ)支えあい健やかに暮らせるまち《保健・医療・福祉》		所属G	総務政策グループ	課長名	渡部泰昌
	施策名	(25)子育て支援の充実		担当者名	南波真二	電話番号	0854-40-1044 (内線) 2252
	目的	対 象	A)子どもの保護者と産み育てたい夫婦 B)乳幼児・児童・生徒(0~18歳)	意 図	A)安心して子育てができる。B)心身ともに健やかに育つ。	予算科目	会計 款 大事業 大事業名 0 1 1 5 0 5 項 目 中事業 中事業名 1 0 1 5 0 1
	基本事業名	(072)子育てと仕事の両立支援		木次こども園建設事業			
目的	対 象	保護者	意 図	子育てと仕事を両立できる。			

1 現状把握 [DO]

(1) 事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (年度 ~)
<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (H28 年度 ~ R3 年度)
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
木次こども園の整備を行う。 主な取り組み ・H28・・・基本計画、補償調査 ・H29・・・補償調査 ・H30・・・用地・補償契約、基本設計 ・R元・・・用地・補償契約、実施設計、造成 ・R2・・・建設工事、備品調達 ・R3・・・旧施設解体

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動	R元年度実績 (R元年度に行った主な活動) 用地・補償契約(1権利者) 実施設計 地質調査 造成、仮施設整備 元新市書庫施設解体 新園舎建設工事発注	R2年度計画 (R2年度に計画する主な活動) 新園舎建設工事 工事監理 備品調達 財源: 過疎、大規模事業等基金繰入金			
	② 活動指標	単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R元年度 (実績)	R2年度 (計画)
ア	決算額 (令和2年度は予算額)	千円	4,890	105,150	109,511	686,722
イ	繰越額	千円			35,190	
ウ						
エ						

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R元年度 (実績)	R2年度 (計画)	
	木次こども園児とその保護者	ア	在園児とその保護者 (園児数)	人	126	114	118	120
		イ						
		ウ						
② 意図 (対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R元年度 (実績)	R2年度 (計画)		
園児が快適で良質な環境で保育・教育を受ける。	ア	子育てしやすい環境だと感じる保護者の割合 (行政サービスの視点)	%	79.2	-	-	-	
	イ	子育て支援に関する行政サービスが整っていると感じる市民の割合	%		75.0	70.2	76.0	
	ウ							

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (1年度決算)	② コストの推移	単位	H29年度(決算)	H30年度(決算)	R元年度(決算)	R2年度(計画)
委託料 21,230千円 工事請負費 30,028千円 土地購入費 28,066千円 補償費 29,448千円 その他 739千円 計 109,511千円 財源: 過疎	事業費 財源内訳	国庫支出金	千円			
県支出金		千円				
繰越分	人件費	地方債	千円	94,900	144,600	680,000
土地購入費 5,080千円 補償費 30,110千円 計 35,190千円 財源: 過疎		その他	千円	10,235		6,000
		一般財源	千円	4,890	15	101
		事業費計 (A)	千円	4,890	105,150	144,701
		正規職員従事人数	人	2	2	2
		延べ業務時間	時間	533	650	650
		人件費計 (B)	千円	2,173	2,816	2,756
		トータルコスト(A)+(B)	千円	7,063	107,966	147,457

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
市内の全幼保施設に先駆けて、平成25年4月に認定こども園化へ移行した。	認定こども園化移行当初から施設が分断状態にあり、一体化施設の建設・整備に対する要望を受け、その改善に向けた検討を行ってきた。	早期の一体化施設の建設・整備

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？	見直し余地があるとする理由
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている *余地がある場合⇒	
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である *余地がある場合⇒	
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である *余地がある場合⇒	
B 有効性	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？	
	<input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない	理由 施設整備に向け、事業予定地・施設構造・内容等適宜比較検討を行いながら事業を進めており、これ以上の成果向上の余地はない。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	
	<input type="checkbox"/> 影響無 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有	理由 中止となった場合、一体化施設の建設・整備に対する要望には応えられない。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？	
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある *ある場合⇒ <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない	(具体的な手段や類似事業名)
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない	理由 公立園の施設整備であり、他に手段がない。
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 施設整備にあわせて、定員拡大を図る予定であり、これ以上削減の余地はない。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 削減の余地はない。
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由 公立園の施設整備であり、公平・公正である。

評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果	② 1次評価結果の総括(根拠と理由)
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	これまで施設整備について要望を受けてきており、また、近年の待機児童の発生もあり、定員の拡大を含めた施設整備は必要である。
	B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
	C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																					
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		●	×																		
	低下		×	×																		
現状のやり方を継承しつつ、できるだけコスト低減を含めて検討を行いながら、施設整備を図る。	<p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																					